

「遠野かっぱ工事隊」発足！！

一般国道340号土淵バイパスは「遠野かっぱロード」と命名！

県南広域振興局土木部 遠野土木センター

遠野土木センターと（社）岩手県建設業協会遠野支部では、遠野管内の建設業者のイメージアップと地域の活性化を図ることを目的として、平成24年3月12日に「遠野かっぱ工事隊」を発足させました。

ふるさと「遠野」の元気のために、被災した「沿岸地域」が元気な姿に戻れるよう尽力することを宣言します！



遠野かっぱ工事隊第1号工事 一般国道340号土淵バイパス（遠野かっぱロード）にて 平成24年3月14日撮影

目的（ねらい）

- ビジネスパートナーである遠野の建設業者のPR、モチベーションの向上が図られること。
- 遠野の建設業者が携わった建設工事などが話題になることで地域の振興に繋がること。

組織構成

- 企画：遠野土木センター
- 運営：遠野かっぱ工事隊運営会議（県建設業協会遠野支部、遠野土木センター、遠野市）
- 隊員：遠野市内の建設業者

活動内容

- 土淵バイパスを「『遠野かっぱ工事隊』がつくった道路」として、看板の設置、ポスターなどによるPR
- 河童をイメージしたヘルメットなどを着用しての市内イベントなどへの参加
- 完成した工事現場で撮影した集合写真などをホームページ「遠野かっぱ工事隊 facebook」などでPR

遠野かっぱ工事隊 facebook

「遠野かっぱ工事隊」の活動状況などの情報を発信しています！是非、ご覧ください！
<http://www.facebook.com/tono.kappakouji>



遠野かっぱ工事隊発足式

3月12日（月）に遠野市土淵町の土淵地区センターで行われた発足式には、本田敏秋市長や工事関係者、地域住民ら約110人が出席しました。

県建設業協会遠野支部の菊池一副支部長は「東日本大震災では、（同支部から）半年間で延べ3,200台の重機と2,200台のダンプカー、6千人以上が被災地で作業に従事した。地域の安全安心に貢献し、盛り上げていきたい」と決意を述べました。

カッパをデザインしたヘルメットを着用した「遠野かっぱ工事隊」の隊員が、座敷わらしに扮（ふん）した土淵保育園の園児と入場し、照井智隊長が「ふるさと遠野の元気のため、被災した沿岸地域が元気な姿に戻れるように尽力する」と宣言しました。

【一般国道 340 号土淵バイパスは「遠野かっぱロード」と命名】

県では、遠野市土淵町字土淵～土淵町字栃内で整備を進めている一般国道340号土淵バイパス（延長 4.5km）の愛称を「遠野かっぱロード」と決定しました。

このうち、土淵町土淵～土淵町柏崎間の延長約 2.8km については、7月下旬に一部供用開始を予定しています。

「遠野かっぱロード」が、地域の方々や利用者みなさんに親しみを持って利用してもらうため、土淵町地域づくり連絡協議会を中心とした実行委員会による「（仮称）遠野かっぱロードフェスティバル」などを行う予定としています。

一部供用開始や関連イベントなどの詳細については、決定次第、後日お知らせします。

遠野かっぱロードの概要

全体計画延長：4.5km [遠野市土淵町字土淵^{つちぶち} ～ 遠野市土淵町字栃内^{とちない}]

計画幅員：6.5 (12.0) m [1.50+3.25+3.25+1.50+2.50]

事業期間：平成 19 年度～平成 26 年度（予定）

総事業費：17.2 億円

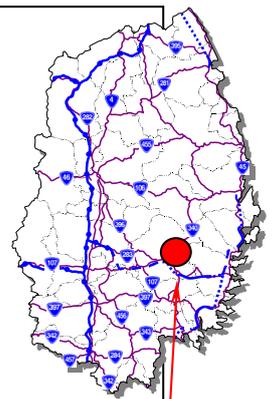
供用開始予定延長：約 2.8km [土淵町字土淵^{つちぶち}～土淵町柏崎^{かしわざき}]

命名の目的と経緯：

一般国道 340 号土淵バイパスが、「かっぱ淵」や「伝承園」などの近隣の観光資源とともに、県民や当地を訪れる観光客などにも親しまれるような地域のシンボルとすることを目的に、遠野土木センターが企画。

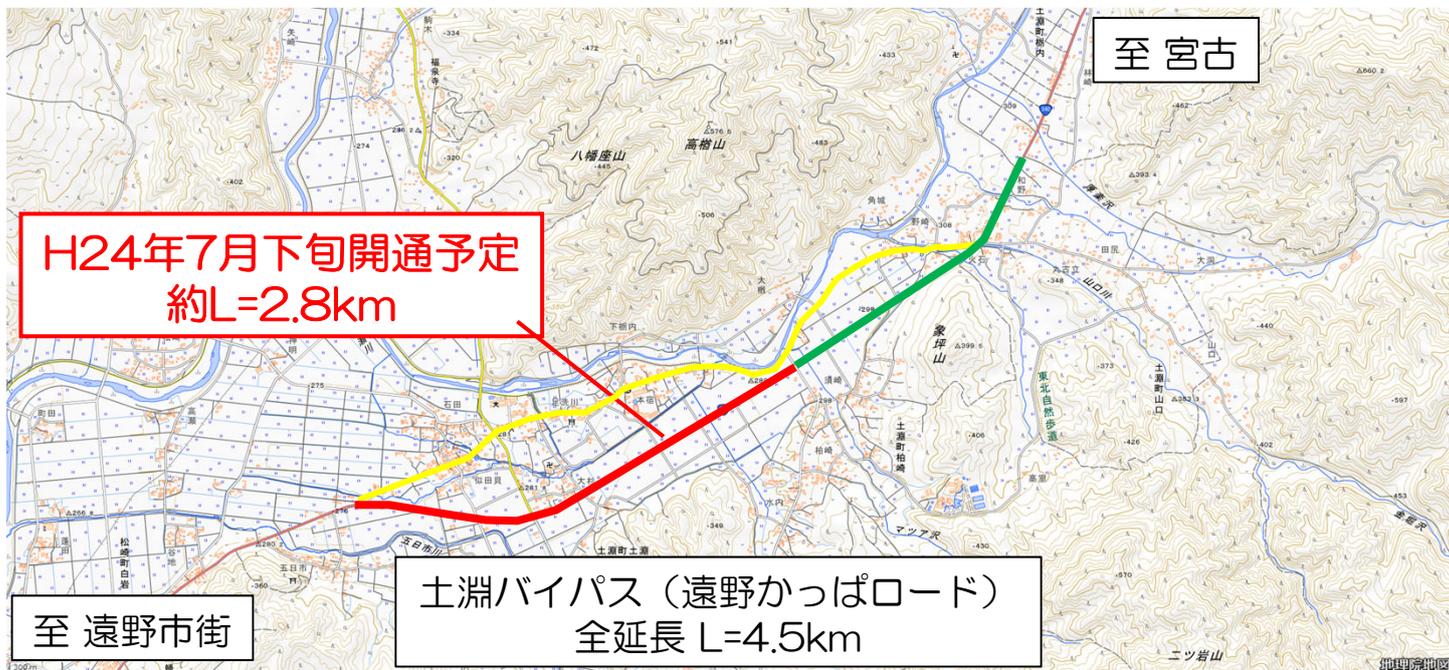
平成 24 年 2 月 12 日に開催した遠野市土淵地区センターが主催する「土淵町地域づくり連絡協議会」（構成員：土淵町区長、土淵小学校・中学校、土淵町青年団体協議会長等）の会議において、出席者約 150 名に土淵バイパスの愛称に関するアンケートを実施した結果、約 8 割の方々から「かっぱロード」という意見をいただきました。

この結果を受け、遠野土木センターが全国的な道路愛称の使用状況等を考慮して、遠野市と協議を行い、愛称を「遠野かっぱロード」と決定しました。



差し替えた地図は、別ページを御覧ください

事業箇所



(令和6年作成) 当時の地図とは異なります